

## 初発型非行（万引き）の防止

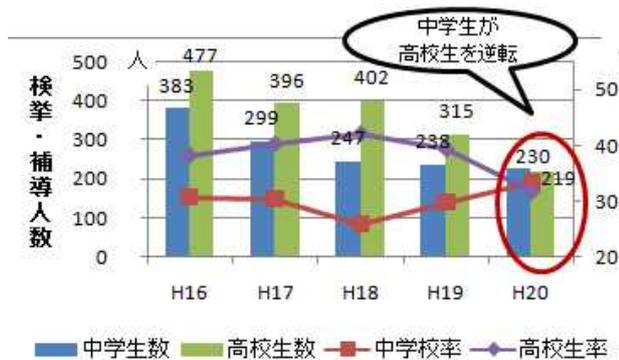
平成 20 年の少年非行の状況が、岩手県警察本部少年課によりまとめられました。

それによると、中学生と高校生の補導数は減少したものの、中学校と高校の補導数の逆転、補導の全体に占める割合の中学生の増加など、中学生の状況について憂慮すべき状況が見られます。

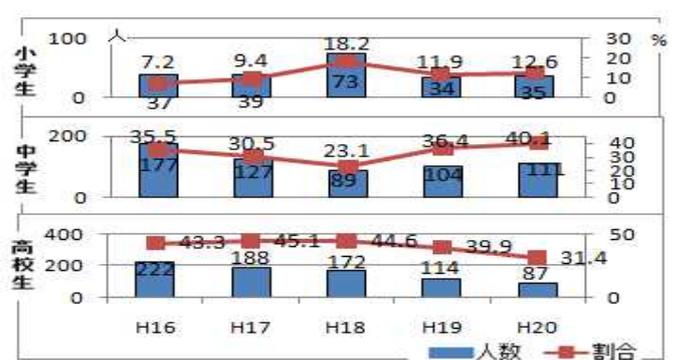
非行の中でも、中学生の「万引き」が増加傾向にあります。初発型非行防止、再犯防止が大きな課題となっています。

警察と連携した「非行防止教室」の実施など、春休みを前にしての指導の充実をお願いします。

中学生・高校生の補導人数と割合



「万引き」の小・中・高校別人数と割合



文部科学省HP内「非行防止教室等プログラム事例集」に、実践事例が掲載されています。御活用ください。  
 ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/mondai04.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mondai04.htm))

### 「万引き」は「窃盗」(せつとう：ぬすみ)という犯罪であることを児童生徒にしっかりと意識づけよう

平成 20 年の初発型非行の中で「万引き」が 4.0%以上を占めています。この発生を防いだり、再犯を防止するためには家庭や学校で「万引きは、窃盗：ぬすみという罪であること」を徹底して教えることが重要です。「万引きはゲームではありません。1回の成功が2回目の行為には結びつかせないようにしたいものです。

そのためには

善悪の判断をしっかりとできる子どもに育てる

何がよいことで、何が悪いことかを判断できる子どもに育てることは、家庭でも学校でも最も大切なこと。

止めてくれる仲間(よい友人)をもたせる

非行に走ろうとしたときに、それを止めさせる仲間を、普段から家庭や学校でももたせておくこと。

家庭で、幼少の頃から「ならぬことはならぬ」と、自信と責任をもって毅然とした態度で教えておくこと。「三つ子の魂、百までも」で、犯罪防止には有効です。

一方で、子どもの心の中にある「寂しさ」に気づいてやることも重要です。寂しさを物で解決しようとしていないか、普段の生活の中で観察しましょう。

(花巻教育事務所 学青少年指導員 佐々木 優樹)

### 効果のあった「万引き防止教室」

交番のお巡りさんを招き、寸劇を交えて「万引き防止教室」を開催し、効果をあげた小学校の例を紹介します。

準備

生徒指導主事が交番を2回訪問し、打合せ

開催形態

朝の活動時間帯(20分間)

学年毎に1回

内容

講話：「万引きはやってはいけないこと」

寸劇：子どもが母親の財布からお金を盗み出す場面などを取り入れながら、家族のお金を取ることは、ましては店の物を万引きすることは、やってはいけないことを訴えた。

講話：高学年には、法律の条文を交えた内容

不適応対策に係る情報を発信していきます。不適応対策指導の参考に活用していただければ幸いです。

岩手県教育委員会事務局学校教育室生徒指導担当 (019-629-6145)

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=1813&ik=3&pnp=86&pnp=1779&pnp=1813>